



今後の主な進路関係行事

【12月の予定】

- 1 (土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 3 (月) 三者懇談期間③
[~14(金)]
- 7 (金) プレ演③
- 8 (土) プレ演③
土曜課外①
土曜講座①
- 9 (日) 修学旅行②
[~12(水)]
- 14 (金) プレ演③
- 15 (土) プレ演③
土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 17 (月) 推薦合格者指導③
- 20 (木) プレ演③
- 22 (土) プレ演③
学研①
- 25 (火) 終業式、大掃除
- 26 (水) 冬季休業
[~1/6(日)]

<12月に入りました>

師走に入り、今年も余すところ1月足らずとなりました。先週は、今年最後(3年生にとっては高校生最後)の第4回定期試験がありました。取り組みはいかがだったでしょうか。これから、各教科科目でテストが返却されてきます。テスト後のやり直し、これが最も大切になってくることはみなさんも承知していることと思いますが、確認の意味で書かせてもらいます。まず、出来たところ、出来なかったところをしっかりと把握し、出来なかったところは「なぜ」出来なかったのかを丁寧に分析、その上で出来るようになるまでのやり直しをすることが大事になります。定期試験は、授業での定着を見る試験ですので、全ての試験の基本となるものです。やり直し等で学習内容の一つ一つをきちんと定着させてください。

さて、3年生にとっては、いよいよ入試に向けて追い込みの時期となってきます。体調管理をしっかりとした上で学習に励んでください。また、受験校も決めていく時期となります。担任の先生、学年主任の先生と進路担当で3年生一人ひとりに対して、受験校に対する検討も行いました。三者懇談を通して、そのことについてはお話ししていくことになっていきますが、ぜひ、ご家庭におかれましてもよく相談していただき、間違いの無い受験をしていって欲しいと思います。何か、ご不明な点がありましたら、何なりとお尋ねください。よろしくお願いたします。



【1月の予定】

- 5 (土) プレ演③
- 6 (日) プレ演③
- 7 (月) 始業式 服装指導
大掃除
- 12 (土) 土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 15 (火) 月曜授業
- 18 (金) センター試験激励会③
進路講演会②
小論文がイッス①
- 19 (土) センター試験
進研模試①②
- 20 (日) センター試験
進研模試②
- 21 (月) センター試験自己採点③
センター一番演習②
- 24 (木) 懇談期間(~30日)
センター試験分析報告会
- 25 (金) 大学出張講②
- 26 (土) 駿台②

<11月の進路行事から>

11月2日(金)7校時のLHRの時間において、1年生対象でキャリア教育の一環として「山梨の魅力」を伝える講演会・座談会を行いました。これは、将来「山梨で暮らす」ことを選択肢として意識してもらい、山梨県への定着につなげるために高校生に「山梨の魅力」を知ってもらおうと、山梨県が取り組んでいる事業です。今回は、講師に山梨中央銀行経営コンサルティング経済調査部長の岡本新一様にお出でいただき「やまなしで働く魅力」と題して講演をしていただきました。山梨の歴史に触れながら、山梨県がさらに大きく発展していく可能性を秘めていること、その極めて重要な時代を現役世代として担うのが高校生であることを、とても分かりやすくお話ししてくれました。生徒たちも自分達の地元山梨のことでもあり、集中した態度で話を聞いていました。その中で、「山梨の経済をけん引しているのが、機械・電子産業である」ことや「リニア開業による働き方、暮らし方の多様性」について知れ、山梨の強みを再発見し、山梨に対する興味を深めることができましたようです。なお、今回の講演会・座談会の様子が、今月末発行されます山梨県の広報誌「ふれあい」に掲載されます。そちらも、ぜひご覧ください。



※○数字は学年を示します

＜大学入学共通テストについて＞

＜東進進学通信 Vol. 334＞より

前月号でもお知らせしましたが、「大学入学共通テスト」が2020年度（2021年1月）から実施され、現在の高校1年生から受験することになります。現行の大学入試に影響を与える可能性もありますので、受験生や高校2年生にも是非参考にしてもらいたいと思います。今回は、「英語の4技能の評価には民間の英語資格・検定試験を活用」についての情報をお知らせします。

○英語の4技能の評価には民間の英語資格・検定試験を活用

グローバル化が急速に進展する中、英語によるコミュニケーション能力（特に「話す」「書く」能力）の向上が課題となっています。現行のセンター試験では、「読む」「聞く」の能力のみを選択式で問う問題となっています。しかし、「話す」能力の評価には1人10分程度の面接方式の試験が必要となり、「共通テスト」の中で行うこと（1日で約50万人に対して面接方式の試験を行うこと）は評価する人員の確保などにおいて課題が多く、実現は非常に困難と言わざるを得ません。そこで、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を評価するために、民間の英語資格・検定試験を積極的に活用することとなりました。資格・検定試験のうち、試験内容・実施体制等が入学者選抜に活用する上で必要な水準及び要件を満たしているものを大学入試センターが認定し、2018年3月、参加要件を満たした資格・検定試験を公表しました。その試験結果及びCEFRの段階別成績表示を要請のあった大学に提供していきます（大学入試英語成績提供システム）。実施方針では、認定された民間の英語資格・検定試験については、高校3年の4月～12月の間の2回までの試験結果が活用されるとしています。また、2023年度までは、「共通テスト」においても英語の試験も実施されますが、各大学の判断で共通テストと認定試験（民間の英語資格・検定試験）のいずれか、または双方を選択利用することを可能にするとしています。国立大学協会は、2018年3月、「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題の活用に関するガイドライン」を公表しました。英語認定試験については、基本方針の中で「国立大学としては、新テストの枠組みにおける5教科7科目の位置づけとして認定試験を『一般選抜』の全受験生に課すとともに、2023年度までは、センターの新テストにおいて実施される英語試験を併せて課すこととし、それらの結果を入学者選抜に活用する」としています。認定試験結果の活用については、各大学・学部等の方針に基づき、①一定水準以上の認定試験の結果を出願資格とする。②CEFRによる対照表に基づき、新テストの英語試験の得点に加点する、のいずれか、または双方を組み合わせて活用することを基本としました。

* CEFRとは、「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」のことです。外国語の運用能力を、言語の枠や国境を越えて同一の基準で測ることができる国際的な指標です。下表各資格・検定試験とCEFRとの対照表 文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 Cambridge English Qualifications	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1190	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1189 960	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120	1949 1700	959 690		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	689 270					620 320

→ は各級合格スコア ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限